第１号議案　令和７年度事業報告及び決算について

１　令和７年度事業報告

業務執行の概要

令和７年度の事業計画に基づき、各林業土木協会や林業関係団体等と密接に連携しながら、主に以下の重点事項について取り組んだ。

なお、主な活動状況については、別紙の「参考」に記載のとおり。

１　林野公共事業予算の確実な確保に関する取り組み

⑴　森林整備・治山事業促進議員連盟総会への出席

下記の議連総会等に出席し、令和８年度林野公共事業予算等の確保に関する要望活動を行った。

・第１回議連総会

日　時：５月１９日　１５：００～

場　所：自由民主党本部　７０１会議室

出席者：新谷会長　堂本専務理事　長野林業土木協会　１名

・第２回議連総会

日　時：８月２６日　１５：００～

場　所：参議院議員会館　Ｂ１０９会議室

出席者：泉副会長　堂本専務理事　前橋林業土木協会　１名

・議連緊急決起大会

日　時：１１月１８日　１７：００～

場　所：参議院議員会館　Ｂ１０７会議室

出席者：新谷会長　堂本専務理事　１０林業土木協会　２５名

⑵　林野庁幹部等関係機関への予算要望活動

林土連三役会議を７月１０日に開催し「令和８年度当初予算における林野公共事業予算に関する要望書」を取りまとめ、農林水産省政務三役及び林野庁幹部に提出し、来年度の林野公共事業予算の確実な確保について要望を行った。

また、１１月５日には、林野公共事業関係３団体合同で、財務省、農林水産省、林野庁の幹部に予算要望書を手交して予算の拡充・確保を要望した。

⑶　２０２５治山・林道のつどいを関係団体と共催

１１月１９日に「２０２５治山・林道のつどい」が開催され、林土連は共催団体として参加した。つどいでは「現場からの声」として大阪林業土木協会の風副会長が、奥能登地区の複合災害の概要と復旧対策について説明し、現地が厳しい施工条件にある中、必要十分な予算の確保と引き続きの支援の必要性を訴えた。

２　適正な利潤の確保への取り組み

⑴　森林土木事業設計・施工関係団体連絡会を開催

　コンサルタンツ協議会等の設計・積算関係団体との意見交換会を１月２６日に林野庁の担当者を交えて行い、現場施工者の立場から、現場の実施測量、治山や林道の計画の考え方、設計・積算の精度向上などについて意見陳述を行った。

⑵　設計積算基準等の改正に関する勉強会を開催

　令和７年度における設計積算基準等の改正に関する勉強会を林野公共工事関係３団体と共同で４月１８日に開催し、林野庁に対し歩掛の改正内容等の詳細について説明を求めた。

　また、林野庁の説明内容については、各林業土木協会に情報共有を行った。

⑶　森林土木工事に関する技術者アンケート調査の実施

　森林土木工事の現場技術者が日頃から感じている課題や要望等を把握し、今後の林土連の様々な活動に活用すること等を目的に、技術者アンケートを実施した。

　アンケートには全国の現場技術者１７８名から回答があり、結果については、各林業土木協会に共有するとともに、林野庁にも情報提供し、森林管理局・署の担当者にも共有するよう求めた。

⑷　選ばれる森林土木に関するキャラバンへの参加

　林野庁が北海道森林管理局で開催したキャラバンに道内の各林業土木協会と一緒に参加し、林野庁、森林管理局・署に現場実態を説明するとともに工事発注環境の改善に向けた取り組みについて要望を行った。

⑸　林土連技術・安全委員会の開催

　４月の技術・安全委員会では、年間の行動方針を決定し、１０月には「技術担当者連絡協議会」で林野庁に提出・意見交換する「改善要望事項」の内容について協議した。

⑹　林土連技術担当者連絡協議会の開催

　１１月の技術担当者連絡協議会では、会員企業が携わる工事現場の実態を林野庁に説明し、①入札契約制度の改善や簡素化、②歩掛りの改正、③現地測量・設計成果品の精度向上、④安全衛生経費の適正な確保、⑤工事関係書類の簡素化等について意見交換を行い、実態把握と改善を要望した。

３　労働安全確保への取り組み

　５月中旬に、２日連続して重大災害（死亡災害）が発生したことを踏まえ、同種・類似の災害を繰り返し発生させないよう、「労働災害発生に関する注意喚起と安全指導の徹底」に関する文書を各林業土木協会長あてに発出し、各林業土木協会において現場実態に応じた緊急安全点検を実施するよう要請した。

また、会員企業の労働安全意識のさらなる高揚を目的として、労働災害防止ポスターの作成、配布や林土連会報５月号を労働安全特集号として発行するとともに、各林業土木協会主催で開催される技術者研修会など、機会があるごとに労働安全の確保に関する注意喚起を行った。

４　コンプライアンス活動に関する取り組み

１月の林土連コンプライアンス委員会で決定した年間計画に基づき、コンプライアンス講習会を１１月に開催し、会員のコンプライアンス意識の向上に努めた。

また、各林業土木協会が実施している社会貢献活動については、逐次、林土連のＨＰに掲載して情報発信するとともに、すべての社会貢献活動を掲載した冊子を作成し、関係機関等に配布した。

５　調査研究及び資料の収集

「林業土木・木製構造物の経年変化に関する調査研究」を今年度も継続して実施することとし、各林業土木協会に現地調査の実施を依頼して資料の収集を図るとともに、委託契約により調査結果をとりまとめた。

また、会員が施工している治山・林道工事をＰＲすることを目的に、林野庁治山・林道工事コンクールにおいて農林水産大臣賞や林野庁長官賞を受賞した工事の現場写真を林土連ＨＰに掲載した。

６　林業土木事業に関する技術力の向上に関する取組み

林業土木協会が会員企業の技術者の技術力向上を目的として開催する技術者研修会等に講師として参加（７協会９会場）し、工事の設計・積算内容の改善や施工管理のあり方などについて講演を行った。

７　会員相互の連携と交流

１０月に長野県軽井沢町において林土連技術現地研修会を開催し、林土連会員約１５０名が参加して会員相互の連携と交流を図った。

また、浅間山国有林において、浅間山直轄火山砂防事業や地域防災対策総合治山事業により実施されている工事を視察した。

８　「林土連青年交流会（仮称）」の発足を検討

１２月に林土連青年交流会発足検討委員会をリモート方式で開催し、今後の委員会活動のあり方などについて意見交換を行った。